



平成 28 年 4 月 1 日

各 位

上 場 会 社 名 ユニーグループ・ホールディングス株式会社  
代 表 者 名 代表取締役社長 佐古 則男  
(コード番号 8270 東証・名証第 1 部)  
問合せ先責任者 取締役専務執行役員 越田 次郎  
(TEL 0587-24-8066)

## 特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

このたび、平成 28 年 2 月期（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）において、下記の特別損失を計上することとなりましたので、お知らせいたします。また、最近の業績の動向等も併せて、平成 27 年 10 月 2 日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

### 記

#### 1. 特別損失（減損損失）の計上について

当社の子会社であるユニー株式会社が所有する店舗の収益性の低下による「固定資産の減損に係る会計基準」の適用に伴い、当平成 28 年 2 月期通期で 65 億 63 百万円の減損損失を計上いたしました。これを含め、当平成 28 年 2 月期通期の連結決算における減損損失は、183 億 24 百万円となりました。

#### 2. 平成 28 年 2 月期通期 連結業績予想数値の修正

（平成 27 年 3 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日）

	営業収益	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	1,034,300	21,000	20,500	1,500	6.52
今回発表予想 (B)	1,038,700	22,300	21,600	△ 2,900	△ 12.60
増減額 (B - A)	4,400	1,300	1,100	△ 4,400	
増 減 率 ( % )	0.4	6.2	5.4	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 27 年 2 月期)	1,018,959	20,237	20,488	△ 2,408	△ 10.47

#### 3. 連結業績予想修正の理由

連結営業収益においては、総合小売事業及び専門店事業が前回予想をわずかに下回るものの、コンビニエンスストア事業における新規連結会社 2 社増加に伴う営業収益増により、前回予想を上回る見込みです。

連結営業利益については、専門店事業においては売上高未達による荒利益高未達を経費削減では補えませんでした。しかし、総合小売事業ではユニー株式会社において経費削減により荒利益高未達を経費削減が上回り、またコンビニエンスストア事業では株式会社サークルKサンクス単体における経費削減効果により、前回予想を上回ることができました。結果、連結営業利益及び連結経常利益ともに前回予想を上回る見込みです。

連結当期純利益においては、中国総合小売事業の減損損失計上、株式会社サークルKサンクスにおけるのれんの減損、株式会社さが美等の事業構造改善引当金繰入額計上などによる特別損失の増加により、当期純損失となる見込みです。

※ 上記の予想は、現時点で入手された情報に基づき判断した予想であります。従いまして、実際の業績は様々な要因により、これらの業績予想とは異なることがありますことをご承知おき下さい。

以上